

1 学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及、啓発

学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及、啓発については、本年は以下の事業を実施する。

(1) 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施

学校図書館の機能を充実させるため、学校図書館の業務に携わっている司書教諭や学校司書等を対象にしたサポート講座などの研修会を開催する。

☆(2) 第15回「学校図書館セミナー」の開催

第15回「図書館総合展」において、学校図書館の今日的な課題を取りあげて研修する「学校図書館セミナー」を開催する。また、同時開催の図書館総合展において全国学校図書館協議会(以下、「全国SLA」という)のブースを設けて普及、啓発に努める。

(3) 学校図書館向き図書の選定及び選定図書への件名付与の実施

小・中・高等学校図書館向き図書の選定事業を継続して実施する。選定会議は、原則として毎月2回開催し、全国SLAが委嘱した図書選定委員会が図書の選定を行う。また、選定図書への件名付与を実施する。

(4) 読書会の普及

学校における読書会の振興、普及を図るために、読書会に関する指導者を養成する「読書会コーディネータ養成講習会」を全国5地域で開催する。

(5) 第46回「夏休みの本」(緑陰図書)の選定

全国SLA委嘱の特別選定委員会により、夏休みにぜひ読んでほしい本を厳選し、「夏休みの本」(緑陰図書)として発表する(小・中・高等学校向き40点)。

(6) 学校図書館図書整備協会(SLBA)の図書の選定

SLBA(学校図書館向け図書の共同購入組織)の委嘱を受け、SLBA用図書を選定する。

(7) 第59回「青少年読書感想文全国コンクール」の実施

読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的に、「青少年読書感想文全国コンクール」(毎日新聞社と共催)を実施する。

(8) 第25回「読書感想画中央コンクール」の実施

読書の感動を絵画表現することによって、読書力や表現力を養うことを目的に、「読書感想画中央コンクール」(毎日新聞社と共催)を北海道、山口県・九州地区を除く37都府県で実施する。

(9) 第4回「どくしょ甲子園」の実施

読書会の成果を一枚の「どくしょボード」に表現することにより、多角的な読み方や読解力を育むことを目的に、「どくしょ甲子園」(朝日新聞社と共催)を実施する。

(10) 第43回「学校図書館賞」の授賞

「学校図書館賞(運動、論文、実践の3部門構成)」の選考を行い、入賞者を招いて表彰式を開催する。引き続き第44回「学校図書館賞」の募集を行う。

(11) 第15回「学校図書館出版賞」の授賞

学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を「学校図書館出版賞」として表彰

することで学校図書館向き図書の出版の振興を図る。

(12) 第 19 回「日本絵本賞」の授賞

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「日本絵本賞」、
「日本絵本賞読者賞」(毎日新聞社と共催)の授賞を行う。

(13) 第 37 回「絵本週間」の実施

優れた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう絵本読書が定着することを願って
「絵本週間」を実施する。

☆ (14) 学校図書館スーパーバイザー制度の拡充と活動の普及

全国 S L A 「学校図書館スーパーバイザー」を増進して、全国各地での指導・助言により
各地域や各校の学校図書館の活性化を図る。

(15) 全国 S L A 学校図書館活動推進委員会の活動の展開

各県 S L A の元役員や学校図書館の研究・運動に実績のある退職教員等で構成する学校図
書館活動推進委員会を拡充し、全国 S L A および各県 S L A の活動を強化する。

2 学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究

学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究については、本年度は以下の事業を実施する。

(1) 「学校図書館基準」の作成

学校図書館が機能を果たすためには一定の方針に基づいた継続的な経営・運営が必要であ
る。全国 S L A では、さまざまな基準を作成し発表してきたが、それらを網羅する集大成と
もいえる「学校図書館基準」を作成する。

(2) 第 59 回学校読書調査の実施

青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、全国から抽出した小・中・高校生約
12,000 人を対象に、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態調査を実施する。
(6 月・毎日新聞社と共催)

(3) 平成 25 年度学校図書館調査の実施

学校図書館の整備充実を図るため、小・中・高等学校を対象として学校図書館の蔵書、予
算、職員、運営等の実態調査を実施する。(6 月・全国の小・中・高等学校から 3%を無作為
抽出)。

(4) 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施

全国の市区町村教育委員会に対して、平成 25 年度の学校図書館図書整備費 200 億円を予
算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを実施する。(学
校図書館整備推進会議と共催)

(5) 「学校図書館評価基準」の普及

学校図書館のいつそうの整備充実を図るために、全国の学校図書館で利用できる「学校図
書館評価基準」の普及を図る。

☆ (6) 地区学校図書館研究大会の開催

隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の 9 地区で実施する。

第 40 回北海道学校図書館研究大会	9 月 20 日・ 9 月 21 日	北海道小樽市
第 36 回東北地区学校図書館研究大会	11 月 7 日・ 11 月 8 日	青森県八戸市
第 32 回関東地区学校図書館研究大会	8 月 1 日・ 8 月 2 日	栃木県宇都宮市

第 27 回北信越地区学校図書館研究大会	10 月 10 日・10 月 11 日	富山県富山市
第 36 回東海地区学校図書館研究大会	8 月 7 日・8 月 8 日	愛知県豊橋市
第 43 回近畿学校図書館研究大会	8 月 8 日・8 月 9 日	京都府京都市
第 28 回中国地区学校図書館研究大会	11 月 7 日・11 月 8 日	島根県浜田市
第 26 回四国地区学校図書館研究大会	10 月 31 日・11 月 1 日	徳島県三好市
第 36 回九州地区学校図書館研究大会	8 月 1 日・8 月 2 日	沖縄県豊見城市

☆ (7) 第 18 回「学校図書館夏期セミナー」の開催

北海道函館市において、8 月 5 日・6 日に「学校図書館夏期セミナー」を開催し、研究を深めていく。

☆ (8) 第 19 回学校図書館関係科目担当大学教員研究会の開催

大学において学校図書館関係科目及び司書教諭講習を担当する大学教員を対象に 9 月に学校図書館センターにおいて研究会を開催する。

☆ (9) N I E シンポジウム (仮称) の開催

6 月に、横浜にて「N I E シンポジウム」(仮称)を開催する。

☆ (10) 海外学校図書館研究視察の実施

平成 25 年度に海外学校図書館研究視察を実施する。

☆ (11) I A S L インドネシア大会の視察

2013 年(平成 25 年)8 月 26 日(月)から 30 日(金)にインドネシアのバリ島で開催される、I A S L 大会の視察研修を実施する。

3 各都道府県学校図書館研究団体の活動の推進

各都道府県学校図書館研究団体(以下、「各県 S L A」という)の活動の推進については、本年度は以下の事業を実施する。

(1) 各県 S L A 事務局長会議の開催

全国 S L A の事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県 S L A 事務局長会議を開催する。

(2) 全国 S L A と各県 S L A との研修会等の実施

各県の学校図書館整備を進め、司書教諭、学校司書の専門性を高めるために、全国 S L A と共催で研修会、サポート講座等を開催する。

(3) 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及

学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館活動推進委員や各県 S L A の協力を得て、機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行う。

(4) 各県 S L A の W e b サイト作成

全国 S L A の W e b サイト上に各県 S L A の W e b サイトを開設し、県 S L A の情報提供、研究会・研修会の募集、県 S L A 組織内の連絡等に利用する。

(5) 『各県交換情報』の作成と活用

各県 S L A の組織や活動等について『各県交換情報』を作成して W e b サイトに掲載し、その活用を図る。

(6) 各県SLA組織訪問の実施

全国SLAと各県SLAの連携を強化するため、全国SLAの役員等が各県SLAを訪問し、組織運営や研究活動等について情報交換を行う。

(7) 全国SLA研究協力員の委嘱

全国SLAが行う研究活動に加わり、また研究成果の普及を行う「全国SLA研究協力員」に各県SLAから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受け、委嘱する。

(8) 各県SLAへの研究助成

各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行う。

☆ (9) メールマガジンの活用

各県SLAおよび会員へ速やかに情報を配信するためにメールマガジンによる情報発信を活用する。

4 学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行

学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行については、本年度は以下の図書及び雑誌を出版する。

(1) 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行

機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』を刊行する。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を掲載。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書に関する最新ニュース、学校図書館メディアに関する情報等を掲載する。

(2) 写真ニュース『としょかん通信』の刊行

学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』（小学生版・中高校生版の2種）を刊行する。

☆ (3) 『学校図書館必携』（仮称）の刊行

学校図書館担当者に必要な資料をコンパクトにまとめた『学校図書館必携』を刊行する。

(4) 『学校図書館 基本図書目録 2013年1月～2013年12月版』の刊行

小・中・高等学校の図書館に基本的に備えたい図書を厳選し、解説・分類記号・件名・ISBNコードを付した基本図書の安価版の『学校図書館 基本図書目録 2013年1月～2013年12月版』を刊行する。

(5) 『新しい教育をつくる司書教諭のしごとシリーズ』の刊行

司書教諭になった方のための、また学校図書館の活動をより深めたいと思っている方のための実務シリーズを刊行する。

(6) 『集団読書テキスト』の重版

読書会や朝の一斉読書等のためのテキストとして『集団読書テキスト』を小学校向き4点、中・高向き3点を重版する。

☆ (7) 『はじめよう学校図書館』の刊行

学校図書館の基本的な仕事の意義や具体的な手順を解説したシリーズで『学校図書館入門シリーズ』をリニューアルした『はじめよう学校図書館』を刊行する。

(8) 『よい絵本』Web版の刊行（改訂）

絵本読書の普及を図るため全国SLA絵本委員会の研究成果をまとめた解説目録『第26回よい絵本』はWeb版として刊行したものを必要に応じて一部改訂する。

☆ (9) 『海外学校図書館視察報告書』(仮題)の刊行

先進諸国の学校図書館実践事例を広く普及するため、全国S L Aが実施する海外学校図書館視察の報告書を刊行する。

5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

その他この法人の目的を達成するために必要な事業として、本年度は以下の事業を実施する。

(1) 公益社団法人化の基盤整備

2012年4月1日の公益社団法人化を受け、公益社団法人としての基盤整備を進める。

(2) 学校図書館講演会の開催

特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する講演会を開催する。

(3) 学校図書館研究資料室の整備充実

学校図書館に関する基本的な資料の整備充実を図る。

(4) 「学校図書館げんきプロジェクト」による継続支援

東日本大震災で被害に遭った岩手・宮城・福島県の学校図書館の復興支援に必要な募金活動を行う。